



植物の雑学博士「^{みどりはなぶんかし}緑花文化士」をめざせ！！



「第9回 ^{りょっか}緑・花 ^{しけん}試験」大好評受付中

謹啓 晩夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第9回 ^{みどりはなぶんか}緑・花文化の知識認定試験[略称: ^{りょっか}緑・花 ^{しけん}試験]は7/17の受付開始以来、受験希望者からの反響を多くいただいています。引き続き9/21(金)までが受付期間となっておりますのでご案内いたします。

(財)公園緑地管理財団では、植物や植物に関する文化を楽しく学ぶ“きっかけ”にさせていただくことを目指し、緑・花 試験を実施しております。昨年は、8,162名の方が受験され、最高の級である特級を3回取得した「緑花文化士」は、新たに28名誕生しました。今年は、11/11(日)に全国45会場で実施いたします。(7/13付でご案内した44会場より1会場追加)

つきましては、皆さまにはご多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。 謹言

例題

写真の植物の和名は、果実の中身が白い粉状であることからつけられました。一本の株に異なる色の花が咲くものもあるので、イギリスでは「ペルーの不思議 marvel-of-Peru」とよばれたり、通常夕方から咲くので「午後4時 four-o'clock」とよばれたりします。

この植物は下のうちどれでしょう？

1. ユウガオ
2. オシロイバナ
3. シロタエギク
4. ベニバナ
5. ニチニチソウ



解答と解説

正解：2. オシロイバナ

オシロイバナ科の多年草(園芸上は一年草として扱われる)。和名は黒い果実をおしつぶすとおしろい状の胚乳があらわれることに由来します。

花色は多彩で、一本の株に異なった色の花が咲くものがあります。

花は通常午後4時頃に咲き始め、明け方には閉じてしまいます。

(第2回 緑・花文化の知識認定試験より)

過去問題 30 問をHPにて公開中！

【記者】お問い合わせ先 (財)公園緑地管理財団ひたち公園管理センター 〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 (担当：穂積・田中・森下) TEL 029 - 265-9001	【一般】お問い合わせ先 (財)公園緑地管理財団 〒106-0041 東京都港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 11F 緑・花文化の知識認定試験 事務局 TEL 03-3431-6875
--	---

HPアドレス <http://www.midori-hanabunka.jp>

詳しくはコチラから！！

緑花試験

検索

第9回 緑・花文化の知識認定試験 について

1. 目的

日本は豊かな自然に恵まれ、生活に“不可欠なもの”“潤いを与えるもの”として、古くから植物を取り入れてきており、そのことは日本文化の特徴の一つとしてあげることができます。一方、環境問題が課題となる現代社会において、身近な動植物への理解を深める意義は大きいと考えられます。

このような背景から、本試験が“植物や植物に関わる文化”について楽しく学ぶきっかけになることを目指して実施いたします。

2. 実施日時 平成19年11月11日(日) 14:00~15:10(70分)

3. 実施団体 (財)公園緑地管理財団

4. 申込期間 平成19年7月17日(火)~平成19年9月21日(金)(当日消印有効)
申し込み方法・受験要領は、別添のリーフレットをご参照ください。

5. 受験料 一般(高校生以上)2,900円、子ども(中学生以下)1,000円
どなたでも受験できます。

6. 試験形式 マークシート(5者択一) 全80問

7. 出題区分 「自然科学」「環境形成」「生活文化」「芸術文化」と植物に関わる問題

8. 認定方法

- ・特級から5級までの6階級を認定。
- ・中学生以下の受験者には、上記認定のほかにジュニア認定を行う。
- ・特級を3回取得した方には、特別称号「緑花文化士」の認定証と証明カードを贈呈。

9. 緑・花文化の知識認定委員会

試験の基本事項、出題問題の承認、試験結果の認定等を審議する委員会。

会 長 三浦 朱門 作家・日本芸術院院長

副会長 岩槻 邦男 東京大学名誉教授

委 員 青木 保之 (財)首都高速道路協会顧問

委 員 伊藤 英昌 (財)公園緑地管理財団副理事長

委 員 片倉 もとこ 国際日本文化研究センター所長

委 員 司 葉子 女優・テレビ東京放送番組審議会委員

委 員 中村 桂子 JT生命誌研究館館長

委 員 三好 勝彦 (社)日本公園緑地協会顧問

(敬称略・五十音順)

第8回 緑・花文化の知識認定試験 の実施結果

年齢別、都道府県別の受験者数等、詳細はHPをご高覧ください。

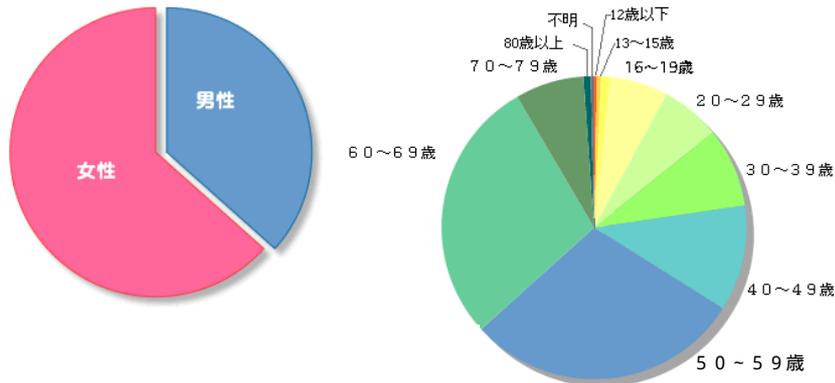
第8回 緑・花文化の知識認定試験（平成18年11月12日（日）実施）では、全国67会場（うち22会場は準会場）で8,162名の方々が受験されました。

受験者の年齢層は6歳から93歳までと幅広く、40歳代～60歳代の方々が約7割を占めました。

今回の試験で28名の「緑花文化士」が誕生しました。

【受験者数】 8,162名（うち茨城県203名）

受験者の構成です。



【認定結果】

平均点 52点（80点満点による）
 最高得点 79点（80点満点による）1名
 ジュニア最高得点 71点（男性・12歳）1名、68点（女性・9歳）1名
 最高齢者 93歳（男性）
 最年少者 6歳（女性）

茨城県内の受験者の最高得点は74点でした！

階級	人数(名)	割合(%)
特級	111	1.36
1級	1,191	14.59
2級	3,119	38.21
3級	2,411	29.54
4級	976	11.96
5級	337	4.13
認定なし	17	0.21
計	8,162	100

表：認定結果（全体）

階級	人数(名)	割合(%)
特級	6	5.94
1級	11	10.89
2級	26	25.74
3級	44	43.56
4級	14	13.86
5級	0	0
認定なし	0	0
計	101	100

表：ジュニア認定結果（中学生以下のみ）

H18 茨城県内データ

【受験者数】

	人数(名)	割合(%)
男性	74	36.45
女性	129	63.55
計	203	100.00

茨城県は全国受験者数の2.5%でした。

【認定結果】

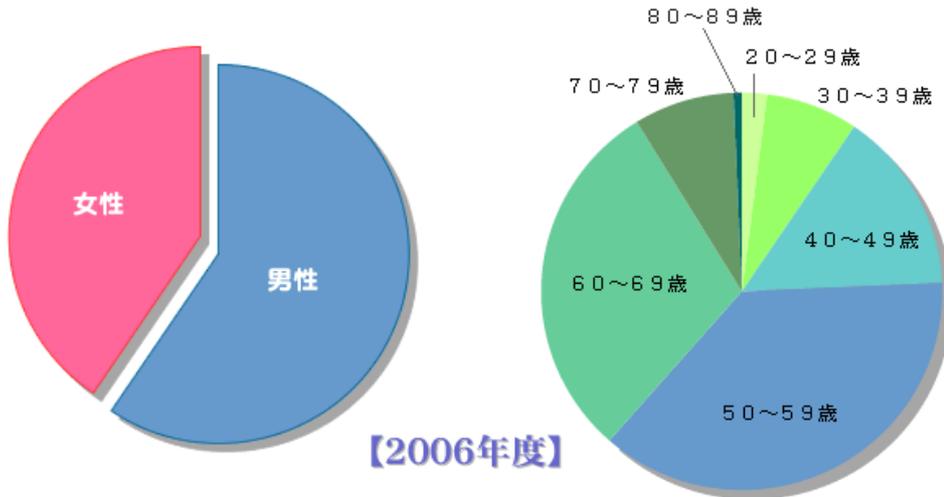
階級	人数(名)	割合(%)
特級	3	1.48
1級	34	16.75
2級	79	38.92
3級	52	25.62
4級	26	12.81
5級	9	4.43
認定なし	0	0.00
計	203	100.00

みどりはなぶんかし
緑花文化士 について

「緑花文化士」とは？

- ・ 緑・花文化の知識認定試験で、特級を3回認定された方に贈られる称号です。
- ・ 現在、148名の緑花文化士がおられ、植物に関する講習会等の講師として活躍されている方もいます。また、国営公園などにおける展示の際にもご協力いただいています。

【2006年度 緑花文化士認定者（2007年1月24日現在）】



性別状況

性別	今回取得者(名)	累計(名)
男性	16名	88名
女性	12名	60名

都道府県別状況

都道府県	今回取得者(名)	累計(名)
宮城県	1名	4名
山形県	0名	1名
福島県	0名	4名
栃木県	0名	2名
茨城県	1名	3名
埼玉県	0名	9名
千葉県	1名	10名
東京都	6名	35名
神奈川県	7名	16名
新潟県	2名	3名
山梨県	2名	2名
静岡県	0名	3名
岐阜県	1名	5名
愛知県	1名	5名
三重県	0名	1名
滋賀県	1名	1名
京都府	1名	7名
大阪府	1名	13名
奈良県	0名	2名
兵庫県	1名	6名
岡山県	0名	1名
広島県	0名	1名
愛媛県	0名	1名
高知県	0名	1名
福岡県	1名	7名
熊本県	1名	3名
鹿児島県	0名	2名
合計	28名	148名

茨城県は今までに、**3名**の緑花文化士が誕生しています。

年齢別状況

年齢区分	今回取得者(名)	累計(名)
20～29歳	0名	3名
30～39歳	5名	11名
40～49歳	2名	22名
50～59歳	9名	55名
60～69歳	10名	44名
70～79歳	1名	12名
80～89歳	1名	1名

2006年度最も多いのは、**神奈川県**。

2006年は、**山梨県**と**滋賀県**で初めての緑花文化士が誕生しました！

緑花文化士の活動紹介

緑・花文化を楽しむ講習会（国営昭和記念公園・2007年4月～2008年3月）講師



写真：日本の庭を楽しむ

（講師は第2期緑花文化士 清水祐樹氏 2006年実施）



写真：“フルーツポマンダー”を作ろう！

（講師は第3期緑花文化士 臼井治子氏 2006年実施）

今年もいろいろな講習会が予定されています。

問い合わせ先：

（財）公園緑地管理財団 昭和管理センター 花みどり文化センター TEL:042-526-8787 FAX:042-526-8788

緑・花文化の達人展（国営昭和記念公園・2007年5月22日～31日）への出展



その他

植物に関する講習会、観察会の講師・・・など
さまざま方面で活躍されている方もいらっしゃいます。

さあ、今年は何人の
緑花文化士が誕生する
でしょうか？！



緑・花試験

りょっかしけん

木や花の不思議。
もっと知りたい、
学びたい。

【サフラン】
アヤメ科クロッカス属の多年生球根植物。小アジアの原産と見られる。10～11月に直径3センチほどの花が咲き、甘い芳香がある。雌しべの赤い花柱と柱頭を乾燥させたものは「フランライス」と料理用の香料や着色料、薬用としても用いられるが、有毒で食べるのに16リットルほどの花が必要なうえ、根に手がかかると大変高価である。

第9回 木と花のともだちになろう

緑・花文化の知識認定試験

試験日：平成19年11月11日(日)

●申込期間／平成19年7月17日(火)～平成19年9月21日(金) ●受験資格／制限はありません ●受験料／一般(高校生以上)2,900円
・子供(中学生以下)1,000円 ●試験地／全国約45会場 ●申込書請求及び問い合わせ先／〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5メソ
ニック39MTビル11F 財団法人公園緑地管理財団「緑・花文化の知識認定試験」事務局 TEL.03-3431-6875 FAX.03-3436-4548

ホームページ <http://www.midori-hanabunka.jp> 「緑花試験」で検索できます。